

- 問1 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている | 2. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている | 3. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路 (IC) を製造する「シリコンアイランド」が形成されている | 4. 情報通信技術 (ICT) を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている |
|---|---|--|---|
- 問2 四国地方の西部に位置し、統計データにおいて「みかん」の収穫量が年間12万トンを超えるなど、全国有数の産地として知られる県はどこですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 和歌山県 | 2. 徳島県 | 3. 愛媛県 | 4. 香川県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問3 瀬戸内地方は、年間を通して降水量が少なく、晴天の日が多いことで知られています。このような気候が形成される地形的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 飛騨山脈と木曽山脈が日本海からの湿った空気を遮り、乾燥した風が流れ込むため | 2. 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため | 3. 冬の北西季節風を四国山地が、夏の南東季節風を中国山地がそれぞれ遮るため | 4. 南側に高い山地が存在しないため、太平洋からの湿った空気が雨を降らせずに通過するため |
|--|--|--|--|
- 問4 2016年の香川県における外国人延べ宿泊者数は約25万人を記録し、2012年から4年間で大幅な伸びを見せました。この期間の動向や統計の詳細について述べた文として、適切なものを選択してください。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 2016年の宿泊者数は2012年と比較して3倍を超える急増を見せており、台湾からの観光客が中心となっている。 | 2. 宿泊者数は急増しているが、宿泊日数で見ると1人あたりの平均宿泊数は全国平均を大きく下回っている。 | 3. 2016年の宿泊者数は2012年の3倍以下に抑えられており、特定の地域に偏らないバランスの良い増加となっている。 | 4. 延べ宿泊者数は増加しているが、その構成比では欧米諸国が台湾や韓国を上回っている。 |
|---|---|---|---|
- 問5 2022年の統計において、ため池の数が多い上位3県は兵庫県 (22,047)、広島県 (18,155)、香川県 (12,269) となっています。これらの県で共通してため池が多く作られてきた背景として、正しいものはどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 年間を通じて降水量が少なく、農業用水を確保するために雨水を貯めておく必要があったため。 | 2. 内陸部で大規模な河川が不足しており、工業用水を安定的に供給するための貯水施設が必要だったため。 | 3. 標高が高い地域が多く河川の勾配が急であるため、生活用水を確保するダム の代わりとして整備されたため。 | 4. 冬の降雪量が非常に多く、春先の雪解けによる洪水を防ぐための調節池として活用するため。 |
|--|--|---|---|
- 問6 中国・四国地方にある県のうち、県域の北側が広く日本海に面しており、瀬戸内海には面していない県はどこですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 広島県 | 2. 鳥取県 | 3. 兵庫県 | 4. 香川県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問7 岡山県やくらしき市、山口県周南市などの瀬戸内海沿岸部には、多くの石油化学コンビナートが立地しています。これらの工場群が、内陸部ではなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから | 2. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから | 3. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから | 4. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから |
|---|---|--|---|
- 問8 瀬戸内海に位置する香川県の小豆島では、地域の気候特性を活かした農作物の栽培が盛んです。「年間を通じて降水量が少なく温暖である」という、地中海沿岸の気候に似た条件を活かして栽培されている特産物はどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| 1. さくらんぼ | 2. オリーブ | 3. りんご | 4. さとうきび |
|----------|---------|--------|----------|
- 問9 1988年に、岡山県と香川県を結ぶ瀬戸大橋が開通したことによって生じた交通体系の変化として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 本州と四国が陸上で結ばれたことにより、移動時間が大幅に短縮され、人や物の流れが活発になった。 | 2. 海上の視界が改善されたことでフェリーの運航本数が大幅に増え、陸上交通との競争が激化した。 | 3. 四国地方から本州への人口流出を抑えるため、あえて移動時間がかかるような道路設計がなされた。 | 4. 本州と四国の間の物流が鉄道から航空路へと完全に移行し、瀬戸大橋は観光専用の道路となった。 |
|---|---|--|---|
- 問10 愛媛県では、化学工業の製造品出荷額や野菜の産出額に比べて、果実産出額が非常に多いという産業上の特色があります。このように愛媛県で柑橘類の栽培が特に盛んになった理由として、最も適切な地理的条件はどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. 瀬戸内地方特有の温暖な気候に加え、日当たりの良い傾斜地が豊富にあるため | 2. 年間を通じて降水量が極めて多く、果実の成長に不可欠な水分を常に確保できるため | 3. 大消費地である京阪神市場に隣接しており、野菜の近郊農業が発展したため | 4. 広大な平野部が広がり、大型機械を用いた効率的な大規模経営が可能であるため |
|--|---|---------------------------------------|---|
- 問11 日本の気候区分のうち、月ごとの降水量が年間を通して150ミリ以下と非常に少なく、気温は1月に5度程度、8月に28度程度を示す、温暖で少雨な特徴を持つ地域として正しいものを答えなさい。 (2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 太平洋側の気候 | 2. 瀬戸内の気候 | 3. 北海道の気候 | 4. 日本海側の気候 |
|------------|-----------|-----------|------------|
- 問12 広島県における2006年から2015年の市町村別人口動態の調査では、県北部の内陸部に位置する市町村で、7.6%を超える顕著な人口減少が確認されています。このような高い減少率を示す地域に共通して見られる地形的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 火山の噴火によって形成された平坦な台地 | 2. 土砂の堆積によって作られた生活に便利な三角州 | 3. 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形 | 4. 大規模な稲作や工業用地に適した広大な平野 |
|------------------------|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|
- 問13 高知県などの温暖な地域において、ビニールハウスを用いて野菜の出荷時期を調整する栽培方法が広く行われている理由として、最も適切なものはどれか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|
| 1. 夏の厳しい暑さを避けるために、収穫時期を本来よりも秋から冬にかけて遅らせるため | 2. 一つの耕地で、同じ作物を一年のうちに二度収穫して収穫量を増やすため | 3. 大消費地までの輸送距離が短いため、輸送コストを抑えて新鮮な野菜を大量に供給するため | 4. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、市場価格が高い時期に取引するため |
|--|--------------------------------------|--|---|